コミュニティ・スクールの今後は

教育長 目標や課題を共有する



◆佐野（さの） 伸也（しんや） 議員

地域の人材や地域資源を生かした学習、学校行事への協力、子どもたちの見守りなど、学校と地域が連携した取り組みを進めている。

問 コミュニティ・スクールの目指す姿に対する取り組み状況とその成果は。

答 学校運営協議会を中心に、学校の教育方針や教育活動について地域の皆様と協議するとともに、学校だけでは気づきにくい地域からの意見や願いを学校運営に生かすことができ、学校と地域の相互理解も深まっている。

問 学校運営に対する地域からの要望や反映状況は。

答 登下校の安全確保、地域との交流を大切にし、地域の歴史や文化を学んでほしい。こうした声を受け、地域人材を活用したふるさと学習や体験活動、登下校の見守り、学校行事への協力など地域と連携した教育活動に反映している。

問 小学校統合後の見通しは。

答 学校と地域が「どのような子どもを育てたいか」という目標や課題を共有し、地域とのつながりを「つなぎ直し」、地域学校協働活動で実施するという一体的な仕組みを構築し、「地域と共にある学校づくり」をさらに進めていく。



文部科学省 学校と地域でつくる学びの未来HPより

特別支援学級の現状と体制は

教育長 ニーズに応じた学級を設置

個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、自立活動を通して生活する上で、一人ひとりの教育ニーズに応じた指導を行っている。

問 特別支援学級の現状（設置状況、児童生徒数の推移、教育内容）は。

答 特別支援学級の設置状況は、小学校6校に8学級、中学校2校に3学級を設置しており、児童生徒数は令和7年度49名、令和8年度48名で、本町では人数の増減はあまりない。また一人ひとりの教育的ニーズに応じた学級を設置している。

問 特別支援学級の人員体制は。

答 経験豊富な教員も在籍し、専門的な知識や指導経験を活かしており、それを若い教員に継承していくことが重要だと考えている。研修や日常的な相談・助言を通して教職員全体の専門性の向上に努めている。

問 就学前の児童発達支援学級と特別支援体制との連携は。

答 就学前には小学校特別支援コーディネーター、保護者、そよかぜ教室の三者で引継ぎ会を開催し、子どもの就学時の負担軽減に繋げている。今後も子どもの発達段階に応じた支援を密に連携し進めていく。



あれからどうなったんやぁ～ シリーズ 120

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和７年９月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 小学校の統廃合は **答** 令和12年度を目指す

こうなりました

学校のあり方検討委員会からの答申書の内容を踏まえ、小学校の円滑な再編に向けた準備、検討及び調整を図るため、「小学校再編準備委員会」を設置し協議を進めています。学校の位置や規模、築年数、教室配置図などをもとに総合的に勘案し、高田中学校区は「養老小学校」東部中学校区は「笠郷小学校」を統合校の候補地として決定しました。

令和12年度の開校をめざし、現在、専門部会（総務部会、教育部会、ＰＴＡ地域部会、施設通学部会）にて、所掌事項の細部について、優先順位を明確にして調査・検討を行っています。専門部会で協議された内容は、小学校再編準備委員会にて十分に検討し、ひとつひとつ丁寧に決定してまいります。

本年８月、子どもたちの意見を大事にしたいと考え、「こども意見交換会」を実施しました。学校の再編は、地域住民の合意形成を図ることが重要です。今後は、進捗状況等について住民説明会を開催するなどして積極的に保護者や地域住民に情報共有を図り、不安解消に努めてまいります。


第１回小学校再編準備委員会の様子


令和８年８月18日
こども意見交換会の様子

議会ニュース

議会傍聴啓発ポスター受賞発表

議会傍聴啓発ポスターを募集したところ、25名の応募がありました。厳選なる審査の結果、下記のように選ばれました。おめでとうございます。入選されたポスターは町内の公共施設等で掲示しています。（敬称略）

優秀賞



安福 優月（ゆづき）
（高田中３年）

住 作



大橋 舞織（まおり）
（高田中３年）

住 作



徳本 圭佑（けいすけ）
（高田中２年）



優秀賞



中村 麻愛（まあい）
（東部中２年）

住 作



森田 綾乃（あやの）
（東部中３年）

住 作



田中 咲妃（さき）
（東部中１年）



町村議会広報研修会参加

８月28日、全国町村議会広報研修会がLINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂）で開催され、議会だより編集特別委員長が参加しました。３名の講師より紙面を見直す効果的なテクニックや、デザイン術などを学びました。



西濃管内町議会議員研修会

10月１日、西濃管内６町の町議会議員の合同研修会が大垣フォーラムホテルにおいて開催されました。九州国際大学准教授の村岡治道氏より「今後の自助・共助・公助と啓発・教育　～阪神淡路大震災30年後からの仕切り直し～」の題目で講演がありました。

